

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和 6 年度第 1 回宮古市立図書館協議会を次のとおり開催しました。

令和 6 年 1 1 月 2 8 日

宮古市立図書館協議会

- 1 開催日時
令和 6 年 1 0 月 2 5 日（金）午後 2 時から午後 3 時まで
- 2 開催場所
宮古市立図書館 2 階会議室
- 3 議 題
（1）令和 5 年度宮古市立図書館の運営状況（実績等）について
（2）令和 6 年度宮古市立図書館の事業実施状況等について
（3）その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
宮古市立図書館 電話 6 2 - 2 4 1 4

第1回宮古市立図書館協議会

1 出席者（6名）

山火敏幸、井川由貴子、藤田隆、大澤信子、小畑修也、戸由忍

2 欠席者（1名）

三浦明美

3 事務局出席者（4名）

生涯学習課長 佐々木雅明、図書館長 松下 寛、主任 横田大裕、司書 大澤東華

4 傍聴者

なし

5 議事等

令和5年度宮古市立図書館の運営状況（実績等）について

令和6年度宮古市立図書館の事業実施状況等について事務局から説明し、
質疑を受けた。

質疑応答内容

質疑・意見	回答
【議題】「令和５年度宮古市立図書館の運営状況（実績等）について」 （委員） 積極的に事業に取り組んでいると感じた。健康相談など今まで結びつかなかったところに着眼し、１年を通して図書館から市民に近付いていこうという点や、図書館シネマの際に関連図書を展示する点に工夫が見られる。 駐車場が広くなり利便性がよくなった点も効果として見えていると感じている。 今後も新しいアイデアを入れながら利用拡大に努めてほしい。（意見） （委員） 図書館シネマについて、映画をみた後に本を借りていく人はどのくらいいるのか。 （委員） 北上市の図書館では、毎月の特集のほかドラマや映画などの原作を展示していた。こういった企画でも若い人を引き付けることができると思う。（意見） （委員） 決算状況について、７節の報償費に講師等謝礼金とあるが、講師はどういう分野の方をお願いしているのか。	（事務局） ５～６人程度。 昨年度の途中から本の展示を始めたところでは。 （事務局） 図書館シネマについては、関係する本の展示やPRをしながら今後も進めていきたい。 （事務局） 講師等謝礼金の内訳は、資料選定委員への謝礼と１０代の読書ボランティア養成講座の講師への謝礼です。読書ボランティア養成講座の講師は絵本専門士の資格をお持ちの方をお願いしています。

(委員) 健康課との健康相談とのコラボや図書館シネマ以外に、関連図書の貸出を行っているものはあるか。	(事務局) 市の各課事業とのコラボ、例えば里親制度やDV・虐待防止などがあります。事業実施の際には、本を借りたいと思わせるにはどうすればいいかを考えて組み立てていきたい。
(委員) 川井分室の利用が増えている。ミニ企画展を行うことによって利用が増えているのではとのことだが、具体的にどのような企画を行っているのか。	(事務局) 北上山地の生き物、自然など。以前は山田線と岩泉線の今昔をテーマにしたこともある。分室と公民館が併設している強みがあると考えます。
(委員) 子どもの貸出状況はどうなっているか。	(事務局) 6歳までの幼児は全体の1.8%。以下、小学生8.1%、中学生1.8%、高校生1.1%と続く。中高生になると率が下がる傾向がある。
(委員) 小学校には学校図書館があるので本を読んではいると思う。ただ最近タブレットが導入されたことにより、すきま時間の使い方が読書からタブレットを利用したドリルなどに変化してきている。子どもたちに選択をさせると読書よりタブレットを選ぶ子が多くなっている。タブレットで本を読めるようになれば読書機会が増えるのではと思う。(意見)	
(委員) 市内の中学生の読書率は90%以上。朝読書の時間を設けているため高い。ただし、朝読書を含めない場合の読書率は年々減少している。中学生になると電子書籍や紙の本を買うなどして、図書館で借りないけど本を読むというケースが増えてくる。そうすると図書館の利用率としては落ちると考える。(意見)	(事務局) 若い世代の声を聞くなど様々な企画を通して本を読むおもしろさを広げていきたい。

【議題】 令和6年度宮古市立図書館の事業実施状況等について (委員) ビブリオバトルについて、現時点で申込者はどのくらいあるのか。 (委員) ビブリオバトルは、観戦者は事前に本を読んでこななければならないのか。 (委員) 図書館でビブリオバトルをやっているのを各学校向けにネット配信し投票できるというのではと考える。高校生がビブリオバトルをするとすごくおもしろいと思う。その様子を小中学生がみて、この人のような本を語れる人になりたいと思うかもしれない。(意見)	(事務局) 発表者3名、観戦者3名程度。観戦者をより多く集めるために広報している。 (事務局) 事前に本を読んでもくる必要はありません。 発表者のプレゼンテーションを聞いて判断する形です。 (事務局) 通常、読書推進事業は写真で記録を残しているが、ビブリオバトルの雰囲気は写真ではなかなか伝わらないと思う。今回は動画撮影をしようと考えています。 (事務局) 今後とも、図書館の事業運営等については創意工夫ながら読書に親しめる環境を作り上げていきたい。 貴重な提言等感謝いたします。 今後の図書館運営に生かして参ります。
--	--